令和6年度第2回半田市児童館運営委員会議事録

開催日時	令和7年2月6日(木)	10時から11時50分まで
開催場所	半田市役所3階 会議室303・304	
会議次第	1 あいさつ 2 議題 (1) 令和6年度児童館年間事業報告について【資料1】 (2) その他	
出席委員 (欠席委員)	【出席委員】 和田 さとみ、加藤 智子、石川 正喜、山本 宏巳、間瀬 さとみ(副委員長)、 内藤 優子、中井 朋子(委員長)、榊原 茂樹、榊原 一、石川 光代 【欠席委員】 徳山 香代、荘司 京子、百田 昌弘、杉江 正憲	
事務局	子ども未来部長 間瀬 恒幸 子ども育成課 副主幹 森本 総一郎	子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 事務員 篠田 莉帆
児童センター 館長	成岩児童センター館長 松下 眞由巳 半田児童センター館長 近藤 正勝 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 有 脇 児 童 館 長 神戸 伸公	亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 乙川児童センター館長 山本 由紀 青山児童センター館長 眞鍋 昭二
次第	議 事 概 要	
	○子ども未来部長あいさつ	
議題(1) 令和6年度児童館 年間事業報告につ いて 【資料1】	～資料1に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～ (委員長) この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。 ～特になし～	
議題(2) その他	(委員長) 1年間の活動等を振り返って、委員の皆さんから一言ずつ、感想やご意見などい ただければと思います。 (委員) この1年間の成岩児童センターの活動を通じて、職員の皆様が一生懸命働いてい るのを感じました。物価高のなかで物をうまく活用して工作していたり、飲食の イベントに向けて懸賞に応募したりするなど、金銭面で余裕のない中で工夫して いる姿を見ることができました。今後も協力していきたいと思います。また、児	

童センターの予算も拡充されていくことも期待しています。

(委員)

年間を通して行事が多く、職員の苦労が垣間見えると感じています。工作物も手作りの品が多く、手が込んでいると思いました。また、最近地震が増えているように感じています。児童センターでも地震に対する避難訓練をこれまで以上に習慣づけていくと良いかと思えます。

(委員)

亀崎児童センターの行事について、かめじサポーターズボランティアの方の協力もあり、子どもたちの笑顔があふれる良いものだと感じています。今後も続けていけると良いと思えます。また、亀崎小に居場所が移っていくということで、今児童センターを利用している子どもたちの受け皿としてどこまで機能していくかについて少し懸念をしています。

(委員)

小学生から大学生までのボランティアスタッフによる活動も多く、児童センターの職員の苦労もあったのではないかと思います。中学生や大学生などの若いスタッフのボランティアは子どもが距離感を近く感じるということもあるかと思えました。昨今の中学校の部活事情について、働き方改革の関係で指導者がいないといったこともあり、土日に何もすることがないという中学生も多くなっていると感じています。そのような中学生もボランティアとしての活躍の場を児童センターに設けてもらっていると思えます。

(委員)

4月から横川小学校内に児童の居場所が開設されると思いますが、現在児童センターから遠いところに住んでいる子などは特に学校内で通えるあそび場ができると通いやすいといったこともあるかと思えます。児童センターのあり方もそれに伴いどのように変わっていくのか見守っていきたいです。

(委員)

青山児童センターの様子を見させてもらっていますが、行事もたくさんあり、皆様が一生涯懸命運営しているのを感じます。地震などの災害については、避難訓練をやっているかと思えますが、子どもたちのためにもぜひ力をいれて引き続きやっていただけるとよいかと思えます。

(委員)

報告を聞いて、各館の地域の特性も生かして皆さんが努力されているのがよくわかりました。有脇児童館について、昨年度と比べるとイベントなどへの参加者が増えております。地域の方の協力があって成り立つイベントも多いかと思いますが、児童館の行事が地域の人と子どもが交わる良い機会になっていると感じます。最近では親世代の方の地域での活動が少なくなっているように感じられます。児童館の活動が親世代、地域の方、子どもたちが交わるきっかけとなり、地域の活性化にもつながるように願っています。

(委員)

様々な地域の方たちの行事などについて勉強させていただきました。行事の手伝いについても今後もやっていきたいと感じています。実際に参加して感じたよかった点などを聞き、引き継ぎ積み重ねていくことで活動をよりよくしていけるのは素晴らしいと思います。来年も期待しています。

(副委員長)

ボランティアや外部講師などに協力してもらうのも良いですが、子どもたちに運営から担ってもらう子どもスタッフという考え方は素晴らしいと思いました。最近では一般的にやる機会が少なくなってしまった餅つきのような行事の機会があることも良いことだと感じています。今後ももう少しお手伝いをしていきたいです。

(委員長)

報告を聞いて、各館の新しいものを取り入れる企画力が素晴らしいと感じました。イベントに参加したお父さん同士でつながっているのを感じられる機会もあり、良いことだと思いました。実際に訪れて気になった点としてはバックミュージックについてです。遊びながら耳から音楽を聴くことは子どもたちにとっても良いことだと思いますが、各館はどのように音楽を活用しているのかお聞きしたいです。

(成岩児童センター館長)

行事のときは関連する音楽を流しますが普段は流していません。「おやこっこ」や「ひよこっこ」などの時には、活動によっては雰囲気盛り上げるために取り入れています。

(亀崎児童センター館長)

普段は流さず大きな行事がある時に限定して準備の時から流しています。

(半田児童センター館長)

同じく普段はピアノを弾いて遊ぶ子もいるため音楽は流していません。運動会やセンター祭りといった大きな行事のときは流しています。

(乙川児童センター館長)

同じような状況です。ただし今後他の活動で音楽を流していくことを検討しても良いかと思えます。

(板山ふれあいセンター館長)

特に子どもが帰るタイミングで流しています。また、活動の中で関連する音楽を適宜流しています。

(青山児童センター館長)

午前中は幼児が多いので小さめの音楽を流しています。小学生が帰るタイミングでも片付けの合図としてディズニー系などの音楽を流します。

(有脇児童館館長)

普段は流していません。お祭りのときなどは全館流します。幼児向け活動のときは部屋でラジカセを流します。

(委員長)

ありがとうございました。他に皆さん意見や感想はありませんか。

(委員)

来年度4月から横川小学校の児童の居場所は滞りなく運営できる状態なのかお聞きしたいです。

(事務局)

準備については最終段階に入っています。今は2月28日に実施する保護者に向けた説明会の準備を進めています。来年度4月以降の運営の動き出しについては予定通り進めています。

また、令和8年度に開設する亀崎小学校の児童の居場所についても地域の方向けの説明会をさせていただいています。

	<p>(委員長)</p> <p>以上で議事を終了いたします。事務局へお返ししますので、よろしくお願いいたします。</p>
閉会	<p>(事務局)</p> <p>長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これをもちまして、令和6年度第2回児童館運営委員会を閉会いたします。今後も運営委員の皆様には各館の運営に関しまして、忌憚ないご意見をいただきたいと思ひます。よりよい児童センターの在り方を考えていきたいと思ひます。ありがとうございました。</p>
(終了)	